



荻須記念美術館 開館30周年

■平成 25 年 9 月定例愛知県議会開会



スポーツの秋、稲北小でも地域の皆さんと大運動会

9月県議会は、民間航空機生産・整備拠点の整備に向けた県営名古屋空港の立体駐車場整備や防災を主とした公共事業等の一般会計補正予算 117 億 9 千万余円はじめ、あいち森と緑づくり税の条例や高御堂住宅建築工事(第 2 工区)の工事請負契約の締結(請負契約金額 7 億 2 千万余円)など 22 議案ほかを審議し、可決、同意、採択の後 10 月 11 日に閉会、開会前から議論を呼んでいた、個人県民税減税案は提出されず 12 月議会対応となりました。

警察委員会では委員長の立場から、今回の不祥事に対し綱紀粛正の徹底と情報漏洩の全容解明および本委員会への報告を求めました。【右記事: 10 月 5 日 読売新聞抜粋】また一般会計・特別会計決算特別委員会委員に選任されました。

●意見書関係

高次脳機能障害に対する支援体制の充実について、自動車取得税及び自動車重量税の廃止について、地方財政の充実・強化について等の意見書 8 件を全会一致で採択しました。

警察不祥事多発 再発防止を要請
県警察委員会
県議会の警察委員会は 4 日、不祥事が相次ぐ県警に対し、「警察官としての誇りと使命感」を持つ職務に取組むよう要請した。この日の委員会で、沖田芳樹本部長は「幹部によるあつてはならない事案で県民の信頼を大きく傷つけたことは極めて遺憾で深くおわびする」と陳謝。これを受け、鈴木純委員長は「特に情報漏洩については、警察の信頼を根底から覆す悪質で重大な犯罪」と指摘し、「1 日も早い全容解明と再発防止の徹底、同委員会への報告などを求めた。」

【2007 年 4 月 10 日 中日新聞】

まず政調費問題から
鈴木純さん(48) 民主党
大きな票数をいただき、責任の重さを痛感します。おごらず謙虚に一生懸命に、そして皆さんの期待を背に正々堂々と働きます。まずは、市議時代には当然だった政務調査費の報告・領収書公開、費用弁償の実費切り替えなどを県議会の中で訴えたい。稲沢市の課題である都市計画をはじめ、地域の医療体制の問題、公的病院のあり方など、地域の実情をしっかりと把握し、公開の場で県民の皆さんに分りやすいよう論議したい。県庁の施策や予算をチェックするだけの立場ではな^く、われわれ議員も地域に根ざった政策提案能力を養い、地方の時代に合わせた「三元体制の確立を目指して



民主党県議団では今回の政務調査費問題を受け、政党・他の議員の後援会・政治資金パーティー等の会費の会費は認められないとしている**政務活動費マニュアル**の徹底を確認。また、**規律委員会**を設置し、飲食を伴う総会等の会費は政務活動費(研修費、会議費)の充当を認めない内規などを検討しています。



■政務調査費問題

県議会に初当選させて頂いた 2007 年のインタビュー(4/10 中日新聞記事)で答え、新人議員を中心に活動し、領収書は一元から公開、議会開会中の 1 万 5 千円+実費の費用弁償は交通費の実費のみになりました。政調費のマニュアルも議会で作られましたが、地域の総会や新年会で飲食がともなっても意見交換が主と自身が判断すれば支出できるなど議員の良識に任せる部分もあり、残念ながら今回発覚した問題を考えると厳格化せざるを得ないと思います。

鈴木じゅん(鈴木は県議会に 5 人も在籍!)の、平成 24 年度政務調査費(上表)は、議員個人分 5,500,016 円(利息含む)をいただき、主に議会報告の印刷、配布等に全体の 71%を支出。次が人件費(郵送作業など広報費)。他で問題となった支払証明書は調査研究費、研修費の名鉄及び JR 東海詳細は県議会の HP で公開しています。ベトナム調査等の報告書は、鈴木純

費用	支出額	適用
調査研究費	266,230 円	ベトナム調査費用 197,500 円 PHP 地域経営塾 42,170 円(受講料・交通費) 裾野がれき調査 23,800 円(交通費) 中部国際空港往復 2,080 円 名古屋往復 680 円
研修費	73,210 円	自治体議会政策学会 73,210 円(受講料・交通・宿泊費)
会議費	—	
資料作成費	—	
資料購入費	229,581 円	日経グローバル 88,200 円 D-file55,000 円 日経ビジネス 26,000 円 職員録 2 点、防災白書等書籍 27 点
広報費	3,905,480 円	2・6・9・12・2 月定例会及び年間活動報告印刷費 1,821,330 円 封筒代 100,800 円 ポスティング代 1,289,652 円 郵送費 2,800 円 メール便代 389,840 円 ホームページ管理費 240,000 円 編集ソフト 61,058 円
事務費	8,715 円	ファイル代
人件費	1,016,800 円	政務調査補助アルバイト(事務 576,000 円、資料作成 300,000 円、配布 96,000 円、郵送作業 44,800 円)
合計	5,500,016 円	(残余 0 円)

議員個人分 5,500,016 円(利息含む)をいただき、主に議会報告の印刷、配布等に全体の 71%を支出。次が人件費(郵送作業など広報費)に計上しています)で 18%での交通費合計 85,000 円を記載しています。HP(<http://www.step21.net/>)で!!

STEP 21 県政 REPORT



■平成25年愛知県議会9月定例会一般質問要旨

新しい地域づくりビジョンについて

大村知事初めての本県の重要な指針となる「新しい地域づくりビジョン」は、リニア中央新幹線の開通予定である2027年の先、2030年を見通すものであり、また、目標年度の2020年は東京オリンピック、パラリンピックの年にあたり、東京への一極集中が進むことが予測される。リニアインパクトのマイナスの影響、所謂ストロー効果が危惧されるが、新しい地域づくりビジョンの有識者懇談会における、リニア中央新幹線の影響についての議論、そして、議論を踏まえた本県の地域づくりについて伺う。



【知事答弁】リニア大交流圏の西の拠点として首都圏に対しても強みを発揮する独自の都市機能や産業集積、魅力の向上を図りながら、関西、北陸圏も視野に求心力をもつ大都市圏を目指し、空港・リニアを中心とした交通体系や当地域最大の強みの産業の革新的な強化などに取り組む。

航空宇宙産業を支える県営名古屋空港について

中部国際空港開港と同時に県営名古屋空港一名古屋飛行場は、通勤機中心の空港として再出発し、2015年に10年間の指定管理期間の区切りとなる。現在は、県や地元自治体の支援、航空会社の経営努力に加え、通勤機航空が、不定期から定期へ、座席数も100席以下に拡大されたことや利便性の良さ等から利用が高まっている。一方、中部国際空港は、開港後数年間は旅客数が1000万人を超えていたが中期計画に掲げる「2014年に1200万人」の目標達成は不透明な状況であり、中部圏全体の観点、民活空港運営法など空港を取巻く状況変化を踏まえ、中部国際空港との関係を今一度検討する時期に来ていると考える。さらに、県営空港に求められる機能は、航空宇宙産業の拠点として位置付け整備を推進していくことであり、空港隣接地を活用した民間航空機の生産・整備拠点の誘致事業は大変重要と考えるが、中部国際空港との関連、航空宇宙産業の拠点としての新しい観点も踏まえ、県営名古屋空港の今後の役割について県当局の考えを伺う。



【地域振興部長答弁】中部国際空港と県営名古屋空港は、連携、補完の関係で、県営空港が既存の通勤機航空事業等と両立しながら航空機産業拠点の役割を果たしていくため、量産される完成機の駐機場所の確保などの課題もあり、引続き本県を中心に関係機関と連携しながら取り組む。

災害医療対策について

災害拠点病院は県内34か所、東京都の70につぎ全国で2番目に多いが、多数の負傷者が発生する大規模災害時には、災害拠点病院だけでは十分な医療を提供できない。災害拠点病院を含めた全医療機関が、その機能に応じて災害医療を担う体制を整備することが重要で、県内97か所の2次救急病院を災害拠点病院の機能を補完する『準災害拠点病院』というように格付けをして、災害時の役割分担を明確にし、県の医療計画等に位置付け、施設機能の強化を図ることが必要である。県内の2次救急病院の耐震化率は62.5%と低く耐震化などを促進することは喫緊の課題と考えるが、災害時に地域住民の安心・安全を確保するために、災害拠点病院と連携が期待される2次救急病院の機能強化についての取組みを伺う。



【健康担当局長答弁】愛知県地域医療再生計画において、2次救急医療機関の災害対策機能の強化を目的に、新たに応急用医療資器材や衛星電話などの整備費を対象とした補助制度を設け、災害時に地域の医療機関が担う役割について2次医療圏ごとに関係者☆による検討会議を設置する。

19日稲沢まつり開場式

25日荻須記念美術館30周年記念特別展式典

26日ライオンズグリーン大作戦 福祉まつり

29日警察消防殉職者慰霊祭

31日稲沢市戦没者追悼式

STEP 21

11月1日稲沢市制55周年記念式典

3日平和まつり

4日市子連子ども会大会

9日B-1グランプリin豊川

10日稲沢シティマラソン



来年4月の消費税増税(5→8%)が確定。

私が議員の立場を頂いたころの700兆円の国の借金は1000兆円。増税は避けて通れないと考えますが、税と社会保障の一体改革、国会議員の身を切る改革は約束です。景気回復、生活の原点、来春の賃金UPに期待です。未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん